兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級通信

わかくさ

R3.10.18
発行
第 382 号

学びの季節

夏休みが終わり早1ヶ月が過ぎ、秋の気配を感じる季節となりました。

平素より、あおの訪問学級にご支援ご協力頂きありがとうございます。訪問学級では、授業担当の教師も変わり、気持ちも新たに2学期のスタートを切ることができました。

9月は、お月見、運動会、秋の虫等にちなんだ授業が行われました。そしてこの夏と言えば、やはり東京オリンピック、パラリンピックです。オリンピックをテーマにした授業で、工夫された種目に一生懸命に頑張っている姿も見られました。2学期は1年の中間にあたり気候もよく、児童生徒たちにとって学習に取り組みやすい時期でもあります。秋の深まりを感じながら、更に学びを深めて欲しいと思います。

さて、例年であれば10月は参観週間で、児童生徒たちにとっても貴重な体験の機会でしたが、6月の参観週間に続いてコロナ感染予防を考え、中止とさせて頂きます。緊急事態宣言も解除されましたが、まだまだ予断を許さない状況です。職員一同、充分に感染対策を行い授業に臨んでいきます。保護者の皆様も、くれぐれもお体に気を付けてお過ごし下さい。

（教頭　月野木　和彦）

西3病棟

9 月は、お月見や野原の虫について学習しました。歌「すずむしのでんわ」でトライアングルや鈴を、歌「おつきみだんご」でパーランクを鳴らしました。腕をよく動かして鳴らせました。シロホンの音も気に入ったようです。教室に登校した生徒は、和太鼓を経験しました。フエルトの月見団子を触ったり、紙粘土を一緒にぎゅっと握ったりして、団子の柔らかさを感じられるようにしました。小学部の児童は、ふれあい遊び「おひさまほっぺ」で顔や頭、手や足を触られることが楽しいようです。

西2病棟

今月は、おもに運動会をテーマに学習しました。入場行進ではバチで太鼓を叩いたりスイッチで玩具の太鼓を鳴らしたりして鼓笛隊になりました。また、玉入れは、お花紙の紙玉をプラスチックスプーンではじいたり、玉を飛ばす器具を使ったり、風船を手で入れたりしました。綱引きは、紅白の紙テープで、草相撲の様にしたり、プラスチックのチェーンを引っ張ったりしてそれぞれの競技を楽しみました。

東3病棟

秋の訪れを感じながら「お月見」「秋の虫」をテーマに楽器、絵本、疑似体験、作品作りに手などを動かし、柔らかな表情や嬉しそうな表情でそれぞれ取り組みました。フェルトボールでオリンピック等の競技をした人、誕生日会を楽しんだ人もいました。誕生日会では、病棟スタッフからお祝いの言葉をかけてもらい、友だちや教師からメッセージを聞くと、嬉しそうにしていました。デイルーム学習では、友だちと同じ場所で、複数の教師の声を聞いたり友だちが活動している様子を意識したりして、それぞれがいきいきとした表情をしていました。

東2病棟

授業担当の教師が替わった 9 月のはじめ、緊張気味な表情の東2病棟の皆さんでしたが、今ではすっかり仲よし。毎日楽しく学習に取り組んでいます。本物みたいに舞うクッションシート製のとんぼを網で捕まえたり、とんぼのめがねやお月見飾りを制作したり、秋を探して教室の外を散策したりなど、それぞれの活動を通して秋に親しみました。スポーツの秋でもありますね。ボウリング、ホッケー、スプーンでボールを飛ばす補助具を使ってバスケットボールに挑戦した友だちもいました。